

すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報



一般社団法人
大学女性協会

第275号
2022年3月

特集 2022年度全国総会ご案内
国内奨学金贈呈式



2022.1.8 加納会長より奨学金目録を受けとる国内奨学生

会長挨拶 ……………2
「世のため、人のため」、
総会担当・岡山支部より

2022年度全国総会 ……3
定時会員総会ご案内

新春のつどい…………4~7
国内奨学金贈呈式

Jカフェ報告、…………8
文化事業委員会、追悼文

気候変動についての…………9
支部講演会

支部発 ……………10~11
札幌、神奈川、
静岡、福井

お知らせ ……………12
守田科学研究奨励賞
贈呈式、コンサート、
パトリシア募金、収益
事業委員会、新入会
員、理事会から

世のため、人のため

会長 加納孝代



今年、2022年は2029年までにあと7年という時点です。2029年とは大学女性協会が晴れて一般社団法人となる年です。そのことで何がかわるでしょうか。結論から言えば、大きな方向は変わらない、むしろ変えてはならない、と考えております。

大学女性協会とは何をする団体かと、よく人に尋ねられます。大学に勤務する教員や職員のための団体ではありません。大学女性協会とは、大学（高等教育機関のこと、したがって日本の場合は短期大学も含まれます）に学んだ女性が、自分たちが受けた教育を社会にお返しして、より良い社会を作ろうとしている団体です。

日本の女性が普通に大学に入学できるようになったのは、第二次世界大戦後でした。大学女性協会（以後JAUWと略記します）の設立は1946年ですが、はじめは大学に進学する女性は一握りでした。私は最初の東京オリンピックの年（1964年）に大学生になった者ですが、その頃でも女子の大学進学率は1割未満でした。それが今や5割を超え、しかも男子よりも高いほどです。

しかし重要なことは、大学で勉強した女性がそのように増えたとして、いったい何をするか、言い換えれば何のために大学に行くのか、をどれだけ自覚しているかです。

高等教育を受けるのは「世のため、人のため」に生きる人間になるためではないでしょうか。JAUWを作った先輩たち、そしてその手本となった欧米の先駆的女性たちは、女性が男性と同様に学び、学問研究に励み、男性と協働して社会活動に携わってこそ、誰にとっても住み良く、生きやすい社会（国連SDGsのエッセンス「誰一人取り残さない社会を」の精神そのもの）が実現すると考えました。

JAUWも女性が男性と同様に高等教育を受けて、男性と社会的責任を分かち合い、より良い社会と平和な国際社会を来たらせるという目標を掲げ、七十有余年を歩んできました。

2029年というのはJAUWが新制度による「一般社団法人」として新たに出発する年です。そのためには継続中の

事業の整理が求められます。現在1から4の事業に使っている資金は2028年度までに使い切らねばならないと言われております。その後の事業資金は別途つくらねばなりません。だからこそ先には70周年記念募金を行ったのでした。今もパトリア募金で毎年100万円ずつの積み立てを目標としております。おかげさまで本年は140万円を超すご協力を頂きました。ほんとうにありがとうございました。

法人の移行に関するより具体的なことについては、今後本部から逐次ご連絡をしております。しかし私たちが先輩から引き継いだ目標は変えたくありません。工夫を凝らし、賢く、楽しみながら理想を追求してゆくチャンスとして受け止めたいと思っております。皆さま、一緒になにとぞよろしくお願い申し上げます。

総会担当・岡山支部からのお誘い

実行委員長 片岡雅子

2022年定時会員総会の対面開催に向けて準備を進めています。コロナウイルスに翻弄された過去2年、愛知・岡山での開催中止を余儀なくされました。今回は、皆さまと元気でお会いできることを心から願っております。

1日目、ANAクラウンプラザホテル岡山（JR岡山駅連絡橋直結）を会場に支部長会と懇親会を開催します。皆さまと懇親を深め楽しい時間を過ごしたいと思っています。

2日目、岡山国際交流センター（JR岡山駅徒歩約5分）を会場に総会行事と講演会を開催します。講演会は岡山出身の歴史学者磯田道史氏に「岡山の女性と歴史」と題してお話しいたします。著書が映画化され話題となりました。歴史番組のキャスターも務められています。尽きない話題に引き込まれることと思います。

講演後は、本部主催でワークショップ「会員拡大について」を行います。

3日目、竹久夢二の生家と美術館を巡るバス旅を企画しています。日本のエーゲ海（と言われている）を眺め、岡山のばら寿司も味わっていただく予定です。日本三名園の一つ岡山後樂園にも足を延ばしていただけます。

支部会員一同、11年ぶりに岡山開催となる総会が実りあるものとなることを願っております。

晴れの国岡山で、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

2022年度全国総会・第11回定時会員総会ご案内

2022年5月21日(土)～23日(月)

2022年度全国総会を、5月21日～23日、岡山市で開催致します。

1. 全国総会日程

◆5月21日(土) 支部長会 & 懇親会

会場：ANA クラウンプラザホテル岡山

【支部長会】16:00～18:00 (19F 宙(そら))

【懇親会】18:30～20:30 (19F 宙(そら))

◆5月22日(日) 総会 & 講演会

会場：岡山国際交流センター

【総会】9:30～16:30 (2F 国際会議場)

* 定時総会 9:30～12:00

* 講演会 13:00～14:30

講師：歴史学者 磯田道史氏
「岡山の女性と歴史」

* 全国総会 14:45～16:30

「会員拡大について」ワークショップ

◆5月23日(月) 9:00～15:00 岡山市・瀬戸内市

【研修旅行】

竹久夢二探検隊～好奇心旺盛な会員のための大人旅～
日本のエーゲ海を眺め、竹久夢二の
生家と美術館を巡るバス旅

2. 参加費

総会費 3,000円 懇親会費 8,000円

昼食費 3,000円 研修旅行費 6,000円

3. 宿泊ご案内

《ANA クラウンプラザホテル岡山》

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1 TEL: 086-898-2262

ご予約 宿泊担当の渡部雅哉様宛てをお願いします。

E-mail: masaya.watanabe@anacpokayama.com

宿泊のご予約、お支払い、変更は各自ホテルへ直接
お願い致します。ご予約は3月31日(木)までに。

その際、必ず大学女性協会とお伝えください。

(近隣のホテル ヴィアイン岡山・東横イン等)

4. 申し込み方法

* 別紙の申込用紙に必要事項を記入の上「支部提出用」は
各支部長へ提出。支部長は出席者を取りまとめ「支部ま
とめ」用紙を**3月31日(木)まで**に実行委員長片岡雅子
kataokam827@gmail.com 宛てお送りください。

* 参加費(総会費、懇親会費、昼食費、研修旅行費)の送
金は、**4月10日(日)まで**に、郵便振替で下記の口座に
お願い致します。(同封の払込取扱票をご利用ください。
払込取扱票は郵便局備え付けのものもご利用できます)。
通信欄に必ず、ご参加項目、支部名をご記入ください。

ゆうちょ銀行

【振替口座】 01330-1-112577

【加入者名】 一般社団法人 大学女性協会岡山支部

* 総会、昼食、懇親会、研修旅行のキャンセルは**4月30日
(土)まで**とします。ただし、総会費3,000円は、日時に
関係なく、返却できませんのでご了承ください。

5. 問い合わせ先

実行委員長 岡山支部 片岡雅子

E-mail: kataokam827@gmail.com

TEL: 090-8069-0194

★講演会(22日)研修旅行(23日)の詳しい内容を別
紙のチラシでご案内していますので、ご覧ください。

★第11回定時会員総会開催通知は、議題を添えて、4月
26日頃発送、5月の連休頃お手元に届く予定です。

6. 会場と交通のご案内

5月21日(土) ANA クラウンプラザホテル岡山

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1

TEL: 086-898-2262

◆ JR岡山駅 運動公園口(西口) 連絡橋直結
新幹線改札を出て、右手、運動公園口連絡橋に沿っ
て進むと右手に見えてきます。(左手はNHK岡山)
エスカレーターを降りて入り口に到着します。

5月22日(日) 岡山国際交流センター

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

TEL: 086-256-2905

◆ JR岡山駅 運動公園口(西口) 徒歩約5分
ANA クラウンプラザホテル岡山から約150m

【アクセスマップ】



会員の皆様へのお願い

4月26日頃、「第11回定時会員総会開催通知」を「議
決権行使書」とともに正会員の皆様に発送いたします。
開催通知には予算及び決算報告、各議案が同封されて
いますので、ご覧ください。定時会員総会は重要な総
会ですので、正会員の皆様には万障お繰り合わせの
上、ご出席をお願いいたします。欠席の場合は「議決
権行使書」にご記入いただき、署名、捺印の上、5月
16日(月) 必着でご返送ください。

JAUW 新春のつどい 第1部

国内奨学金贈呈式

2022年1月8日 京王プラザホテル 扇の間にて

第74回 一般奨学生・第31回 安井医学奨学生選考にあたって

国内奨学委員長 田中 紀子

大学女性協会国内奨学金は、将来のリーダーになり得る優秀な女子学生に学資を授与し、勉学や研究活動を奨励することを目的としており、一般奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金の3部門からなります。さらに一般奨学生と社会福祉奨学生として選出された方々の中から特に女性、教育、国際関係分野の研究を行う学生1名をホームズ奨学生としております。

今年度は6月に24支部を経由し228大学へ募集書類を発送し、さらにホームページからも募集を開始し、8月末日に締め切りました。全応募総数64名のうち、一般奨学金応募者49名から各支部で31名を選抜、社会福祉奨学金応募者4名、安井医学奨学金応募者11名を加え、計46名が本選考の対象となりました。本選考は、国内奨学委員16名の評価結果を集計し、10月24日に行われました。選考結果を基に、研究遂行能力、将来性、リーダーとしての資質・熱意、博士課程前期、後期のバランス、地域バランスを考慮し人選を行いました。その結果、一般奨学生として陳兆昱さん、増澤真麗さん、笠井美玖さん、黒川夕奈さん、瀧本未希さん、藪根夏希さんの6名、安井医学奨学生として広瀬息帆さんが候補者として選ばれ、さらに上記一般奨学生6名と、社会福祉奨学生1名のなかから、ホームズ奨学生としてジェンダー関連研究をしている 陳兆昱さんが選出され、11月理事会で承認されました。

昨年度から一般奨学生の文系・理系比率で理系比率が高くなりましたが、今年度は文系10、理系21と理系の応募者比率が1:2でありました。それぞれの部門での審査では、委員間での議論が活発に交わされ、長時間の議論を尽くした後の決定でございました。本年度は「新春のつどい」に奨学生4名が参加され贈呈式が行われ、ユーモア溢れる奨学生のスピーチを拝聴できたこと、喜ばしく感じられました。

この場を借りましてご協力賜りました全国支部の方々、関係理事に感謝申し上げます。



第50回 社会福祉奨学生選考にあたって

社会福祉委員長 遠藤 理枝

第50回社会福祉奨学生の選考経過をご報告いたします。2021年6月1日に募集を開始し、8月31日に締切り、応募者の集計整理については国内奨学委員会とともに実施いたしました。今年度の社会福祉奨学生の応募総数は、大学生1名、大学院生3名の計4名でした。大学生は、沖縄県から東京支部を経由しての応募で、大学院生は、京都支部、愛知支部、福岡支部からの推薦で、各1名の応募でした。

10月9日、厳正かつ慎重に選考し、身体に障害のある学業・人物ともに優秀で、将来リーダーとなり得る女子学生として、京都大学大学院修士課程2年、医学研究科人間健康科学系専攻の高石瞭（たかいしあき）さんを奨学生候補として推薦し、理事会で承認されました。なお、大学生に関しては、残念ながら該当者なしといたしました。

ホームズ奨学生

女性の政界進出と国家間紛争に着目して



青山学院大学大学院
国際政治経済学研究科 国際政治学専攻
博士後期課程1年

チンチョウイク
陳兆昱

フェミニスト国際関係論は1980年代から、理論を中心として論争が始まった。その一つであるジェンダー政治は女性の政治活動を研究し、そうしたジェンダーの視点から伝統的国際関係を見直そうとする研究分野である。特に2000年10月、女性・平和・安全保障に関する国連安保理決議1325号が採択されて以来、ジェンダー研究は国際関係分野の中で注目を集めている。

これまでジェンダー政治分野の多くの研究において、女性が積極的な役割を果たすことが示されたが、女性と平和的な対外政策との関係性は実証的に明らかになっていない。この研究上の空白を埋めるために、ジェンダー政治と紛争の関係性から、政府にとってどのようなインプリケーションがあるのか明らかにする必要がある。そのため、私の博士研究では、女性の政治参加と国家間紛争のメカニズム、どのような政治参加または効果が生じたかを明らかにしたいと考える。

将来は、女性研究者として、女性の政治参加を研究し、若手女子研究者やジェンダーと国際平和に関心を持つ女子学生の交流の場を作りたいと思う。特に留学生として、国境を越えて定期的に男女平等や世界平和に関するテーマを中心として交流会を行いたいと考える。女子学生のネットワークができ、各領域の女子学生と研究者のディスカッションにより、世界の平和促進とジェンダー平等に対して現在できることを明らかにする。

一般奨学生

機能性分子センサを用いた低レイノルズ数における
非定常干渉流れの解明

東北大学大学院 工学系研究科
博士課程後期1年

笠井美玖

私の研究では、火星飛行機や高高度無人機など希薄大気中で運用される飛行機械の性能向上を目指し、低圧環境かつ高速流れといった特殊な飛行環境である圧縮性低 Reynolds 数における物体の間の非定常流体现象の解明に挑戦します。時間的に変化する流れ場の解明のため、低圧環境における圧力場をその発光から計測可能な感圧塗料を新規開発し、流れ場の調査に適用します。これまでの研究では、低圧環境で従来の1/5程度の期間で作成できる感圧塗料を開発しており、低圧環境で従来の1.4倍の圧力感度を持ち、1.2倍の速さで流れ場に追従する性能を実現しました。今後は開発した流れ場の計測技術に加えて速度場計測を用いて、多角的に物体の間の非定常流体现象を捉えようと考えております。

私が考える研究の魅力とは二つあり、一つは研究者自らのアイデアにより直接的に社会技術向上に貢献できる点です。二つ目として、失敗した例も次の問題の解決口になったり、物事に新たな視点をもたらしてくれたりします。これら研究のプロセスによって得られる学びも研究の魅力の一つです。

将来は、アカデミアの研究者として博士後期課程で行う「流れの計測技術」と「非定常干渉流れ」のテーマをもとに航空宇宙分野で新たな分野を築き上げたいと考えています。一方で、航空宇宙分野は様々な学術的分野が融合して成り立っています。様々な分野での勉強・研究を通し、他分野の成果を航空宇宙分野へと融合するだけでなく、他分野に影響を与えられるようになりたいと考えます。

逆転凍結レプリカ脂肪酸標識法の開発による
脂肪酸分布のナノレベル解析法の確立

鹿児島大学大学院 共同獣医学研究科
博士後期課程2年

黒川夕奈

現在までは、急速凍結・凍結割断レプリカ標識 (QF-FRL) 法を用いた膜脂質の局在解析を行ってきた。この方法によって様々な脂質の局在解析を行い、細胞のオートファジー (自食作用) における生体膜リン脂質の役割等を明らかにしてきた。QF-FRL法やその他の広く用いられる脂質解析によって識別できるのは膜脂質の“親水性頭部”の違いである。それに対し、膜脂質の多様性のもう一つの要因である“疎水性尾部”である脂肪酸解析は、生体膜の内側にあることから解析技術が非常に限られており、細胞

内、特に生体膜における脂肪酸の分布に関する情報は極めて少ない。

本研究では、QF-FRL法をさらに改良することにより逆転凍結レプリカ脂肪酸標識法を新たに開発し、生体膜における脂肪酸分布をナノレベルで解析することを可能にし、それぞれの疾患と脂肪酸代謝及び摂取との関連が明らかになるものと期待される。

近年、脂肪酸の中でも多価不飽和脂肪酸 (PUFA) あるいは1価不飽和脂肪酸 (MUFA) が、癌、精子機能、寿命の延長、インスリン抵抗性の改善及び心疾患改善など種々の生理及び病理機能に影響あるいは関与することがわかってきた (Cell 2010; Nature 2017)。しかしながら、PUFA及びMUFAが生理機能にどの様に関与するのかわかっていない。本研究で確立する逆転凍結レプリカ脂肪酸標識法によって従来とは異なる次元の情報を獲得することにより、それぞれの疾患および疾患改善と、脂肪酸代謝及び摂取との関連が明らかになり、その成果に基づく新たな医薬品の開発も期待され、ライフイノベーション推進への寄与は大きい。

火山性地震の波形記録を用いたマグマの状態の推定による
火山噴火過程の解明

名古屋大学大学院 環境学研究科
地球環境科学専攻 修士課程2年

濱本未希

現在火山を有する様々な国では経済発展に伴う居住地域・工業地帯の拡大などにより噴火発生時の被害規模が大きくなっており、持続可能な社会構築のための火山監視・噴火予測の必要性が増しています。火山の噴火が爆発的なものになるかどうかにかかわる重要な要素の一つが、発泡度や粘性といった地下のマグマの状態です。しかし噴火直前のマグマの状態についてははまだよく分かっていません。そこで本研究では火山で発生する地震の波形記録のうち細かい構造に影響を受けながら伝わる散乱波に着目しました。散乱波の継続時間の大小から推定される散乱構造の時間変化は地下のマグマの状態を示す指標として、多様な火山噴火過程の理解のみならず噴火予測・火山監視技術の拡充に役立つと期待されます。今は2020年に噴火したフィリピンのタール火山の地震・火山ガス・地殻変動などの観測データを用いて、地下の散乱構造とその時間変化を推定する新しい手法を開発し、推定される散乱構造とマグマの状態との定量的な関係について調べています。

地球の中心から宇宙空間へと熱を排出するシステムの一部である火山は魅力的な研究対象です。私は将来、理学・社会学・資源工学などの視点から融合的に火山の理解と利用を進める国際科学研究プロジェクトを立ち上げ普遍性のある火山モデルを構築することで、地球の成り立ちを解明し、その研究成果を火山防災・利用に役立てる形で社会に還元していきたいと考えています。

ケニア農村部における携帯電話の活用による保健サービスの利用促進プログラムの過多性・断片化の評価



長崎大学大学院 博士前期課程
熱帯医学・グローバルヘルス研究科
国際健康開発コース2年

増澤真麗

医療現場における ICT の活用が進み、携帯電話を活用した保健サービス

(mHealth) は国際協力活動の選択肢として様々な国でプロジェクトが実施されてきました。特にケニアではネットワークの広がりや携帯電話の所有率が比較的高いことから、多くの援助団体・研究者が mHealth の実証実験を行ってきました。mHealth は医療へのアクセスの課題を解決し、Universal Health Coverage 達成の一助の可能性を持ち合わせていると考えます。一方、今まで短期的かつ試験的に行われてきた援助介入やプロジェクトが多く、途上国の保健医療サービスやシステムの重複・断片化に繋がっているとの指摘もあります。私はケニアクワレ県にて、定性的・定量的データ収集を行い、どのような mHealth プロジェクトが今まで実施され、現地の医療サービス・システムの断片化に繋がっているのかを調査いたします。得られた結果は、今後保健医療システム構築やサービス提供のために活かすことができるよう具体的な政策提言等を検討しております。

大学院を卒業後は途上国の保健医療サービスを向上させるため、JICA 等の国内外の国際協力機関への就職も検討しております。本研究を通して、ICT を活用した途上国の保健医療サービスの現状を知り、より良い国際協力、保健医療政策・サービスの提供について考えてゆきたいと思っております。

閉核構造をもつクラスター化合物の金属間結合反応活性化



大阪市立大学大学院 理学研究科
物質分子系専攻 後期博士課程1年

藪根夏希

私は、硫黄原子が3つの金属イオンに結合した三核錯体を用い基礎研究を行なっています。このような三核錯体

は、これまでも還元により高い反応性を示すことが知られていましたが、還元すると不安定になるため触媒反応などへの利用が制限されてきました。しかし、本研究で用いる三核錯体は、金属の種類や金属に結合した有機化合物（支持配位子）を容易に変更することで、錯体の電子密度や立体構造を制御して錯体を活性化することができます。さらに錯体が比較的安定であるため様々な測定を容易に行うことができ、多様な反応へ適用が可能です。今後は金属-支

持配位子ユニットを系統的に入れ替え、三核錯体の性質がどのように変化するか評価し、これまで明らかにされてこなかったクラスター化合物の金属間結合を理解し、支持配位子の電子的、立体的効果が錯体の性質に及ぼす影響を明らかにするための研究を進めていきたいと考えています。そして、優れた反応性や選択性をもつ触媒や新薬、あるいはマルチセンシング機能をもつセンサーの開発に役立たいと考えています。

後期博士課程進学者は年々少なくなっており、特に女性ではさらに少ないのが現状です。私自身も周囲から理解を得ることは非常に難しいと感じました。後期博士課程へ進学し研究者としての道を歩むことが他の職業を選択するのと同様にまわりから認められるよう、私自身がロールモデルとなれるように努めていきたいと思っております。

安井医学奨学生

多くの癌の基礎研究を創薬に繋げ、世界中の患者さんを幸せにする



東京大学大学院 新領域創成科学研究科
メディカル情報生命専攻 博士課程2年

広瀬思帆

私は将来、世界に先駆けて癌の新規治療薬開発に貢献できるグローバルリーダーになりたい。

私は修士修了後に網羅的な腫瘍研究を学ぶため、開発型医療がもっとも進んでいるポストンに留学し、Harvard Medical School で癌免疫療法の開発に従事した。留学先では各国から集まる医師や製薬会社のスタッフと意見交換することで、医師ではない立場でも常に患者さんを意識した開発研究を行い、臨床応用を見据えた現実的な研究計画を遂行できる知識と経験を身につけることができた。

現在は博士研究として、東京大学発の創薬ベンチャー代表の支援を受けながら、新薬の創製に主体的に取り組んでいる。本研究が完遂すれば、既存の癌免疫療法に対して大きな知見を提供できるだけでなく、新規免疫チェックポイント阻害剤の創製とその臨床応用を目指した開発研究へ展開できる。これは、修士で学んだ癌の基礎研究と、留学先で培った応用研究の経験と技術を身につけたからこそ成し遂げられるテーマだと考える。

新薬を生み出すには、着想から市販まで長い年月を要し、大学・企業・政府などの枠組みを超えた連携が必要不可欠である。基礎研究から臨床応用への架け橋となり、日本で培った優れた分子生物学的研究を創薬に還元させることで、革新的新薬創出の一翼を担い世界中の癌患者を救うという夢を実現できると信じている。

社会福祉奨学生

成人先天性心疾患患者の職業選択の経験



京都大学大学院 医学研究科
人間健康科学系専攻 修士課程2年

高石 瞭

医療技術の進歩により、小児期から疾患をもち成人を迎える人が年々増加しており、小児慢性特定疾患をもつ人の半数以上が成人となっています。病気や障害を抱えながらも、就労し経済的に自立していけるような支援の検討が現代において急務となっています。成人先天性心疾患患者は、外見では健常なために仕事をする上で配慮が得られにくく、仕事量を調整できず体調を崩す経験をしていることが明らかとなっています。しかし、彼らがどのようにしてその仕事を選んだのかについては明ら

かでなく、就労前やそれ以前の小児期からどのようなサポートができるかについては十分に検討されていないことから、職業選択の経験を明らかにしたいと考えました。

現在は、職業を選ぶ前の経験に着目しながら、分析を進めています。先天性心疾患に限らず、他の疾患や障害をもつ人にとっても就労は大きな課題となっています。小児期から抱える疾患や障害をもつことは、大きな成長発達を遂げる重要な時期に治療による制約を受けることであるという特徴を踏まえ、本研究の結果を他の疾患や障害においても考察し、サポートの構築について検討していきます。

ワークライフバランスについての関心が高まっている現代において、自分に合う働き方を見つけていくことは、疾患や障害をもつ人だけに限らず全ての人において共通する課題だと感じています。今後は、この研究の結果が医療や福祉の領域だけでなく、社会においてどのように適応可能かについて、引き続き考察を深めてまいります。

新春のつどい 第2部

事業担当理事 藤谷 文子

2年ぶりの開催となった新春のつどい第1部の後、鷲見八重子前会長による乾杯のご発声で第2部が始まり、会場はリラックスした雰囲気包まれた。本来10人掛けのテーブルはホテルからの要請で5人或いは6人掛けとなり、4人の奨学生は4テーブルに分かれて座り和气藹々とした会食となった。奨学生のテーブルではすごく盛り上がり、矢継ぎ早の質問にも丁寧に答えて貰え楽しかったと同席者が感想を述べてくれた。お母様もご出席くださった奨学生もおられた。

宴たけなわの頃ミニコンサートの始まりとなった。今回登場していただいたのはメゾソプラノの伊藤名佳子さん。元財務委員会（現・収益事業委員会）所属で、亡き羽山昭子会員の孫娘という事もあり懐かしく感じられる方もいらっしゃるのでは？ピアニストは山中麻鈴さんでお二人とも東京芸術大学卒の前途有望な若い芸術家である。武満徹の作品から始まり、エディット・ピアフの“バラ色の人生”、カルメンより“ハバナナラ”、ベリーニの“もしあなたができないなら”、ロッシーニの「セビリアの理髪師」より“今の歌声は”と歌い上げ、拍手喝采後、アンコールの“グラナダ”の迫りに圧倒されてしまった。前途有望な奨学生達にこの若い二人のコンサートを聞いていただけたことは本当

に良かったと思う。伊藤名佳子さんは4月からイタリアに留学とのこと、頑張ってもらいたいものである。

昨年出来なかった総会を今年担う岡山支部は、目下準備に余念がない様子。岡山支部から支部長代理で出席された秋光正子国内奨学前委員長による総会への勧誘スピーチは、なかなか魅力的だった。竹久夢二ツアーも面白そうである。

宴もお開きに近づいた頃、中村久瑠美元会長により守田科学研究奨励賞の成り立ちに関する詳しい説明があった。守田様遺贈品の全容が明らかになりびっくりしてしまった。ご自身の弁護士としての力も発揮してくださったのは無論のこと、やはり説明を伺い、先人の残してくださったこの会への熱い思いに感謝の気持ちで一杯になったのは私だけではないと思う。

収益事業委員会によるバザーテーブルには長崎支部、神戸支部などからの寄贈品コーナーとともに通常通りの品ぞろえがあり賑わいを見せていたが、今回はその横に守田様遺贈品の一部が並べられ、茶道茶碗、宝飾品の数々の即売があり、完売したとのことである。

城倉純子副会長からのさわやかな締め言葉で今年の新春の集いは滞りなく終了となった。



Jカフェ第11回報告

『若草物語』のジェンダー論 ～ 作品世界と作家の実人生の中で～

講師：会長 加納孝代

JAUW 加納孝代会長による生涯学習委員会主催の第11回Jカフェが12月18日（土）オンラインで行われた。

加納会長（活水女子大学前学長・青山学院女子短期大学名誉教授）からはルイザ・メイ・オルコットの『若草物語』のお話を伺うことに。少女時代から読み親しんだ『若草物語』からどんな世界が広がるのか、楽しみでならなかった。

奇しくも明治維新と同じ19世紀の後半のアメリカで書かれた『若草物語』を加納会長は優しい語り口で原作と作者についてお話をされていく。時は南北戦争が勃発した時代。映画の『若草物語』を見ているように丁寧にお話される。

作者のルイザ・メイ・オルコットは4人姉妹の次女として生まれ、独身を通し、家族の生活を支えていく。そんな中、妹のベスをしょう紅熱でなくしてしまう。そこでルイザは死が何を意味するか知る。南北戦争が勃発すると、北軍の看護婦として働く。その時の経験の「病院のスケッチ」が評判になると、少女向けの物語の依頼を受け、家族と姉妹のことを書く。読者からの評判も良かったLittle Women（『若草物語』）である。19世紀では女性の幸せは結婚とされ



ていたのでLittle Womenに主人公たちの女性を結婚させてほしいと読者から手紙がくるようになる。ルイザがモデルのジョーは最後に結婚したが、現実のルイザは若い時から、服装は女だけど、その下は男、男の子の気質を持って生まれたと日記に書きこんでいたのだ。

『若草物語』は「性別役割の固定化」の観念では書かれてはいない。ルイザの家庭では「超絶主義の理性・知性重視主義」という、自然の中に神が存在する等の宗教観を家族内で共有していた。ルイザは「性別役割の固定化」をしなやかに乗り越えていったように思えた。東京支部 端本和子

2021年12月22日

加来徹クリスマスサロンコンサート ～ 六本木シンフォニーサロン

東京支部 伊藤真理子

数千人のホールでも、オーケストラの音を超えて生の歌声を響き渡らせることができる特殊な能力を持つ人たち。加来徹さんはその中で、日本の将来を担うと期待されている若手バリトン歌手です。大声ではないのに天井桟敷まで響く歌声。宗教曲では、本場ドイツでのバッハ・コレギウム・ジャパンの公演でソロを担当。昨年は超難曲として有名なオペラ「ルル」に主要キャストの代役としてわずか1ヶ月の準備期間で挑み、完成度の高さに絶賛を浴びました。



加来さんは「ミュージカルのオファーはいっぱいあるけれど受けない」そうです。オペラと違い、歌いやすい音域に転調ができ、マイクを使っ

た毎日公演が長期間できるミュージカル。多くの見た目麗しい歌手たちが、収入が安定するミュージカルの道に進んでオペラを歌えなくなってしまうのですが…

そんな生の声にこだわる加来さんの1時間のコンサート。たった1時間？いえ、なんと豊かな時間だったことでしょう。「カルメン」のエスカミーリョのアリアに始まる全15曲。言語だけで、仏・独・伊・露・英・日と6カ国語。オペラ・歌曲・ミュージカル・宗教曲・カンツォーネ・クリスマスのポップスとレパートリーの広さを実感する曲目をピアニストで作・編曲家でもある松岡あさひさんと共に、ウィットあるMCを添えてサロンに響き渡らせました。

☆加来徹さんの6月14日（火）のコンサートについては12ページをご覧ください。



加藤恭子さんを偲んで

東京支部 中山正子

加藤恭子さん（元副会長・元監事）に初めてお会いしたのは1995年IFUW 横浜大会で、LACの五十嵐康子財務委員長の下でお手伝いをしていた時でした。その後、理事会で二度ご一緒になり、いろいろ教えていただきました。いつも変わらない穏やかなお人柄で、理事会がたいへん和やかな雰囲気になりました。戦後70年を迎えた2015年、東京支部では「ともしび」別冊文集「昭和20年8月15日 あの頃わたしは…少女たちの戦争証言」を発行しました。加藤さんは「15歳の私たち」と題した体験談をお寄せくださいました。軍需品の勤労奉仕、軍需工場への勤労働員、校舎の防衛宿直で出会った空襲の恐ろしさなどが詳しく綴られて、「疑うことなく、一生懸命時局に従って生きた15歳、16歳の記録」と結ばれています。「必勝」の鉢巻き、ゲートル、学生手帳が昭和館に展示されたとき、加藤さんをお誘いし、みんなで見学して、近くのホテルでランチをいただいたのがお会いした最後になりました。幾夏か、蓼科の山荘に泊めていただきました。夫君と出会われたころのエピソードは、お茶目なところが楽しく、懐かしい思い出です。ご冥福をお祈りいたします。※2月3日にご逝去の加藤恭子さんの功績については、会報265号8頁の「ヒューマン・ストーリー」をご覧ください

気候変動についての支部講演会

気候モデルを開発した真鍋淑郎氏が2021年ノーベル物理学賞を受賞されたことは、世界が気候変動を危惧していることを象徴しています。時を同じくして東京支部、京都支部が、気候変動をテーマにした講演会を開催されました。東京支部は向後紀代美会員、京都支部は一原雅子会員が講師を務められました。講師のお二人には会報へのご寄稿をあらためてお願いしました。

気候変動と私たち

—川崎市麻生区とミャンマーの村—

向後紀代美 東京支部会員

「明日は私に死が・・・」と世界中の誰もが恐れるコロナと違い、現時点では気候変動の被害は地域や人が限られている。どんなにTVで豪雨、洪水、山火事、氷河融解と報道されても日本ではなかなか自分事として考えにくい。しかし、被害が地球全体に及ぶのが次世代とゆっくりで、気がついたときはもう遅いと多くの科学者が警告を発している。それと、もうすでに弱者に被害は始まっている。グラスゴーのCOP26に参加した高校生はボツワナの少女の話を聞いて胸が苦しくなると訴えていた。



そんな状況の中で20年も前からその対策として再生可能エネルギー教育をおこなってきた地域がある。私の住む川崎市麻生区は市政20周年記念に区役所の建物の屋上にソーラーパネルを設置した。そして、区の地域振興課と市民が協力しあい、希望する小学校への出前授業をしている。子どもたちが段ボールとアルミ箔で小型ソーラークッカーを手作りして、焼き芋やゆで卵を料理する。私も参加したがとても楽しかった。また、大人向けには有名な講師を招いての「自然エネルギー学校」や施設見学会（ソーラーパネル、風力、小型水力発電所など）も実施。クリスマスには区役所ロビーにソーラー電力によるイルミネーションの設置、年3回の「おひさまだより」の発行などの活動を行っている。その中心になったのは、天野悦子さん、飯田和子さん、林恵美さんなどの女性や男性たちのボランティア。そのソーラークッカーを私は、スーツケースに折りたたんで入れ、この20年以上マングローブの植林活動をしているミャンマーの村へ。そしてごはんをたいたり、ゆで卵を作ったりして喜ばれた。何しろ乾季には陽射しが強く、一か月で腕に時計の跡がくっきりつくほど。ソーラーは有望である。もちろん、家族用にはもっと大型のものがいるとか、雨季にはどうするかとの問題もあるが・・・日本の自分が住んでいる地域の人々とミャンマーの村人が、気候変動対策でつながったのは、嬉しい限りである。

気候変動影響への「適応」

—京都気候変動適応センターの取り組み—

京都気候変動適応センター研究員
一原雅子 京都支部会員

本講演会では、まず世界・日本・京都の各々における気候変動影響の現状やその影響の現れ方について、2021年に公表されたIPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書第1作業部会報告書の要点や日本の気象庁等が公開する資料に依拠して説明した。IPCC 報告書はこれまでも、急速な地球温暖化が人間活動によりもたらされている可能性を指摘してきたが、今回の報告書で初めて、これを「疑う余地がない」と断言した。このことは、将来に向けて、人間活動の在り方を根本的に見直す必要があることを意味している。次に、気候変動への対応として、一般的には緩和策と適応策という2つの方策があることを紹介した。ここで、気候変動適応法（2018年制定）の下、令和3年7月に京都府、京都市及び総合地球環境学研究所により設置された京都気候変動適応センターにおける取組みの一部（気候変動影響についての情報収集）を紹介した。具体的には、多くの人々が気候変動の現れを過去5～10年前くらいから顕著に感じ始めており、これは実際の京都の気象データと適合することや、気候変動がもたらす悪影響の多くが他の社会問題と複雑に絡み合っていることが明らかになったことを伝えた。

当日、会場にてアンケートを実施し、参加者が日常生活で感じている気候変動影響や、これに対して採るべきと考えられる行動について回答を求めた。前者は、夏の猛暑の深刻化や異常気象、豪雨の増加等に関する回答が多かった。後者は、こまめな省エネといった日々の暮らしに根付いた行動、ニュースに関心を持つといった学びに関するものまで、具体的に日々実行可能な行動を考えた回答が多かった。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム (2021年11月2日閲覧) (抜粋)
https://adaptationplatform.nies.go.jp/climate_change_adapt/index.html

2021年度 JAUW 文化交流事業 in 札幌
 「Zoom で広がる人のつながり、深まる価値観」
 堀内満智子

2022年1月16日、札幌支部第1回 Zoom 例会を開催した。北大留学生協議会 (HUISA) の Ursine 会長 (ブラジル)、Oliveira 副会長 (アンゴラ)、Ong 広報委員 (シンガポール) ほか Porkkala さん (フィンランド)、Abilla さん (フランス)、5人の留学生のご協力で、現地で生まれ育った人だからこそわかる母国の教育と留学体験を通して知った日本の教育の違いを、日本語で2時間半、パワーポイント発表をして頂いた。

全国から30名の参加者を得て、チャットによる質問も含め、文化や教育システムの違いにより、各国の教育の共通点や相違点を改めて感じ、事後のアンケート回答から、日本の教育提言のきっかけになったと感じた。(開催内容の詳細は JAUW 札幌支部の HP をご覧ください。)

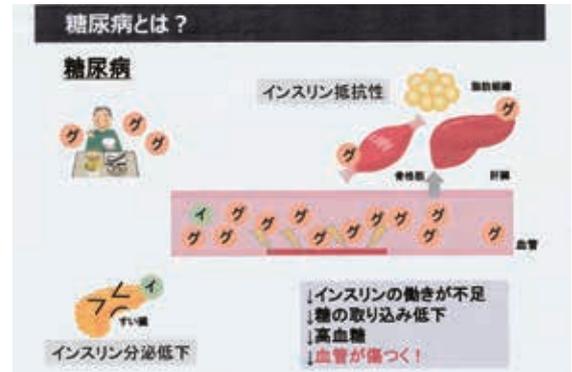
今回の開催のきっかけは2021年度札幌支部メール・Zoom 総会 (メール5/16-18、Zoom 5/19開催、会員数19)。Zoom 参加者は9名だったが、17名の事前メールでよせられた多くの意見の一つが、「通常の例会ではお呼びできない、道外の方や海外在住の方と繋がっての講演会」。5月の第1回メール・Zoom 役員会で Zoom だからこそできる「外国の方から母国についてお話を伺う」例会が提案され、今回の実施につながった。11月には本部から「支部における留学生との文化交流事業支援」が発表され、テーマ内容・時期を HUISA 会長 Ursine さん他メンバーと確認後、応募。

全国レベルでの Zoom 開催で、開催側として多くを学ぶ機会となった。初めての、Google Form での参加募集とアンケート。発表対象者との連絡や確認。Ursine さんにも参加していただき、役員間で初めての共同ホスト練習。

Zoom による開催は、知識の深まりや価値観の共有だけでなく、かかわった全員との国際交流であり、人とのつながりを実感させるものであった。最後に北海道大学留学生協議会 (HUISA)、JAUW 文化交流委員会、参加者の皆様とサポートしていただいた支部会員にお礼を申し上げます。



神奈川支部
 「国内奨学応募生のお話を聞く会」
 渡部由紀子



神奈川支部では、2018年度より、神奈川支部に応募された国内奨学生 (含む社会福祉奨学生) 候補の学生さんたちに支部会員にお話していただく機会を設けています。様々な分野で研究されている国内奨学応募生の方から直接最新の研究のお話を伺うことで、会員にとって若い世代の研究者から知的刺激を受ける貴重な学びの場となっています。

直近の会として2021年12月8日に、東海大学大学院生物科学研究科の勝田那奈様に「生活習慣病の早期診断と予防のための研究～AGEs・2SCの観点から～」というテーマで発表していただきました (画像はその資料の一部)。

国内奨学応募生の方にとって専門外の方にご自分の最新の研究内容を話す珍しい機会であり、時には会員である先輩研究者からの助言を頂ける有意義な機会となっています。本選の結果が出た翌年にこの会を企画しており、応募時から時間差があるためか、応募時よりも研究が進んだ段階でご登壇いただいていることと、その間に発表経験を積まれているせいもあるのか、どなたも発表がとてもスマートです。2020年度からコロナ禍によりオンライン開催となりましたが、発表資料も素晴らしく、オンライン発表にも慣れている方ばかりでした。応募書類だけでは読み取れなかった研究内容を専門外の参加者にもわかるように工夫されており、毎回、有意義な研究をされていることがよくわかる会となっています。

2018年度と2019年度はそれぞれ2名の方に神奈川県内の会場までお越しいただき対面式で開催しました。2020年度は1名、2021年度は2名、オンラインで登壇いただきました。Zoom 普及のお蔭で全国の支部から多様な会員にご参加いただけるようになったので、支部間交流の場にもなっています。

2021年度登壇者の勝田様は、所属するキャンパスのある熊本県からの報告でしたが、オンラインで支障なく進行できました。研究発表の機会を提供することを通して若い研究者を支援する事業として、今後もこの会の開催を継続していく予定です。

静岡支部

「女性のキャリアアップに必要なもの
—静岡の女性管理職経験者に聞く」 鍋倉伸子

静岡支部では2019年、行政、学校、企業、消防などの組織の管理職である8名の方に、今後の女性たちのキャリアアップ形成のヒントとなるよう、状況調査を実施しました(報告書はJAUWホームページ静岡支部の項を参照)。それぞれの回答者は困難にあっても、その能力と努力をもって現在の地位を得ていることを知り、実際にお話を聞いて考えを深め、新たな活動につなげたいと、2020年懇話会を計画。回答者もお互いが知り合えるチャンスになると期待されていましたが、コロナ禍で延期になりました。

2021年10月24日静岡県男女共同参画センターにおいて、8名のうちの4名と支部会員9名で、ようやく懇話会を開催できました(静岡新聞記者も取材を兼ねて参加)。

①キャリアアップの課題には「経験を積むチャンスのお機会均等、配置や異動、女性職員のキャリア形成につながる支援、過度な付度・配慮はその妨げになりかねない」「女性管理職は増えてきているが、決定に携われるようなラインにまで上がっていない」「上司は女性に配慮するあまり、資格があっても女性にさせるのをためらう業務があるが、希望して災害現場に行くことができた」「自分は運がよかった。『できない上司』は任せてくれ、『できる上司』は認めてくれて、課題を与えられ経験を積むことができた」「男性は数が多いため、個人として評価されるが、女性は少ないので、何かあると個人ではなく『だから女性は・・・』という評価がされてしまう。数が大事。女性の管理職、仲間を増やしたい」などの意見が出ました。②キャリアアップのためのシステムとして「男女の育休取得比率を高める」が出され、「主体的子育ての感覚がない男性の意識改革」「今の若者の意識は変わって来ている」「クォータ制は育児休業でも適用したらどうか」「育休を取る男性が、取っても冷や飯を食うことなく、経験がメリットになれば変わってくる。社会に普及すればいい」などの最後に「後輩に大丈夫、普通に働けばいいと前向きに伝えたい」が出た有意義な時間でした。



福井支部

「これからも、大事に長く続けたい二つのこと」
東野香里



会員数6名の小さな福井支部。親睦を深め、情報交換を図りながら、JAUWの目的のもと和気あいあいと活動しています。

長引くコロナ禍…。年度初めに決めたのは“今できることで親睦や学びにつなげよう。会員の得意なことを活かしてみんなで楽しみましょう！”です。6月の「短歌de脳活」では、各自が好きな短歌を2首ずつ持ち寄り、その理由を自由に話す。12月の「クリスマスカードづくり」では、厚紙とカラフル模様の色紙を使っての立体カードづくりに挑戦し、久しぶりの“工作”感覚を味わいました。どちらの会も、得意な会員が先生です。頭や心、手にも刺激があり、互いの新たな一面も垣間見れる楽しい時間でした。

また、福井支部には大事に続けている活動が二つあります。一つ目は、貧困のために学校にいけないタイの女兒に学費を支援する「教育里親」活動です。タイのドゥアン・プラティープ財団を通じて、一人の子が小学校に通い続けられるよう、1回きりではなく卒業まで関わることを大切に、学費を毎年支援する活動です。その子が無事に卒業できたら、次年度からは別の女兒を支援するようにしています。毎年送られてくる成績表からはその子の頑張りが伝わってきます。こちらからも手紙やプレゼントを贈って交流。上記のカードづくりもその一環で、今回はカードから作ってみようというものでした。

二つ目は、「郷土を知ろう」という活動です。訪問先やボランティアガイドさんとの交流を楽しみ、素敵な景色や歴史、文化に触れる小旅行。今年度は、「越前和紙の里で手すき和紙工房や名勝三田村家庭園を見学し、歴史やアートに触れる」旅でした。毎年楽しみながら、会員皆がもっと福井を好きになっています。JAUW会員の皆さま、気兼ねなく旅行を楽しめるようになった時には…、一番に福井にお越しくださいね(笑)。

小さいながらも、地道に活動している福井支部を、これからもどうぞよろしくお祈りします。

(写真は、和紙工房での墨流しの見学風景です。)

第24回大学女性協会 守田科学研究奨励賞贈呈式・受賞講演会

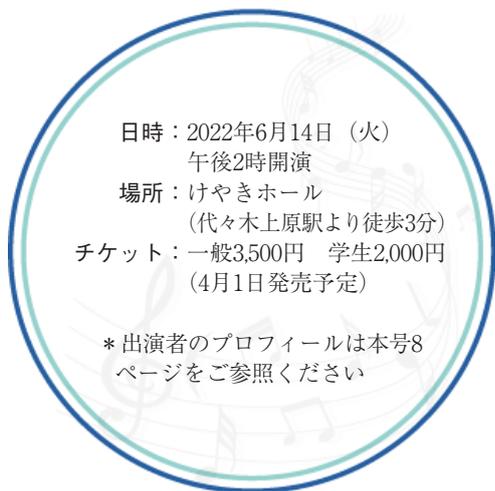
第24回守田科学研究奨励賞の贈呈式および受賞講演会を昨年引き続き、WEB開催いたします。多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

日時 2022年6月5日(日)
 贈呈式 13時00分～13時30分
 受賞講演 13時30分～14時40分
 会費 無料 奮ってご参加ください。
 受付開始 5月1日(予定)

*WEBでの申込受付を予定しております。
 *贈呈式はコロナ感染症の状況が収まればハイブリッド開催に変更する可能性があります。詳細はHPでご確認ください。(変更がある場合は、参加申し込みをされた方にはこちらからご連絡いたします。)

初夏のアフタヌーンコンサート 文化事業委員会

出演：加未 徹 (バリトン) 松岡 あさひ (ピアノ)
 ☆気鬱なことの多いコロナ禍の下、歌で世界を旅するひとときを、ご一緒しましょう！



日時：2022年6月14日(火)
 午後2時開演
 場所：けやきホール
 (代々木上原駅より徒歩3分)
 チケット：一般3,500円 学生2,000円
 (4月1日発売予定)

*出演者のプロフィールは本号8ページをご参照ください

(一社)大学女性協会80周年記念募金パトリア寄付者ご芳名

2021年11月1日～2022年1月31日
 寄付者人数：21名、寄付金額：210,000円
 上記期間中の寄付者ご芳名(敬称略・支部別 五十音順)
 (仙台) 菊地昌枝 (新潟) 西村智奈美 (茨城) 牧島悠美子
 (長野) 徳田節子 (東京) 向後紀代美 児林英子 中山律子
 松村美枝子 宮原千佳子 (神奈川) 鷺見八重子 房野 桂
 (静岡) 永倉みゆき 鍋倉伸子 (愛知) 稲葉みどり 伴 紀子
 (金沢) 木梨由利 (京都) 高橋侑子 (神戸) 唐島幸子
 (岡山) 青木多寿子 (大分) 和田輝美 (長崎) 関きみ子
 全体期間：2021年4月30日～2022年1月31日、
 寄付者延べ人数：145名、寄付総額：1,432,000円

寄付金の振込先口座

銀行：ゆうちょ銀行

名義：一般社団法人 大学女性協会

- ① 払込取扱票(郵便振替)で行う場合
 口座記号及び口座番号：00130-0-587701
 ※パトリア募金専用の払込取扱票をお持ちの場合は、そのまま使用可能です
- ② 他行から振込の場合
 支店名：〇一九店 口座種類及び口座番号：当座 587701
 ※ゆうちょ銀行口座から振り込まれる場合も同じです

寅年を迎えて 収益事業委員会

委員長 松崎和子

1月21日に国立大劇場で尾上菊五郎ほかによる「南総里見八犬伝」を鑑賞。2月5日にはサントリーホールで雅楽「国風歌舞」(東京楽所 植原宏樹様 写真有難うございます)、26日には国立能楽堂で「2月普及公演」を鑑賞した。今後の観劇会とその他のイベントは状況を見て開催予定である。

8日には「新春のつどい」でバザーを開催。参加者は奨学生を含め50名ほどであったが、多くの方にお買い物を楽しんでいた。収益事業委員会メンバーも久しぶりのバザーに笑顔が溢れていた。つどいにご参加の皆様のマスク下の笑顔を拝見できないのが残念であった。

買い付けた商品、寄贈品、そして支部から寄せられた沢山の美味しい寄贈品が並んだバザーカウンターは新春のつどいに賑わいを添えたと自負している。JAUWのロゴ入りワッフル、寅(虎)柄の化粧箱入りのカステラ、寅(虎)の版画などは新春のつどいにはぴったりであった。また、初めての試みとして美術品やバッグをサイレントオークションとした。声を出さず商品の前に置かれたリストに次々に金額を書いていくのは面白い試みであった。

全国の会員の皆様、楽天でお買い物をなさるときはJAUWのホームページからお願いいたします。購入金額の一部が協会に入ります。会員外の方もご協力いただけます。

寅年は楽しいことが沢山ある年になることを祈りつつ皆様にお会いできる日を楽しみにしています。最後に、親睦事業委員会の皆様、「新春のつどい」お疲れ様でした。そして有難うございました。



数子

©K2 PhotoStudio

新入会員 理事会承認 2021年11月～2022年1月

東京支部 川村やよい ジェブリー イメン 岡本恵理子

理事会から

- ▶ 令和4年はコロナ禍の中の幕開けとなったが、1月8日、2年ぶりに「新春のつどい」が開催されました。
- ▶ 事務所の開業時間：毎週月、火、木、金曜日、午前10時～午後4時。コロナ禍では変更があります。
- ▶ 2月20日国際ネットワーク委員会による「国際女性ネットワークショップ」が開催され有意義な時を共有した。

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6 パトリア信濃町テラス101
 電話 03-3358-2882 F A X 03-3358-2889
 https://www.jauw.org E-mail:jauw@jauw.org
 発行人 加納 孝代 編集責任者 穂田 信子
 発行日 2022年3月7日